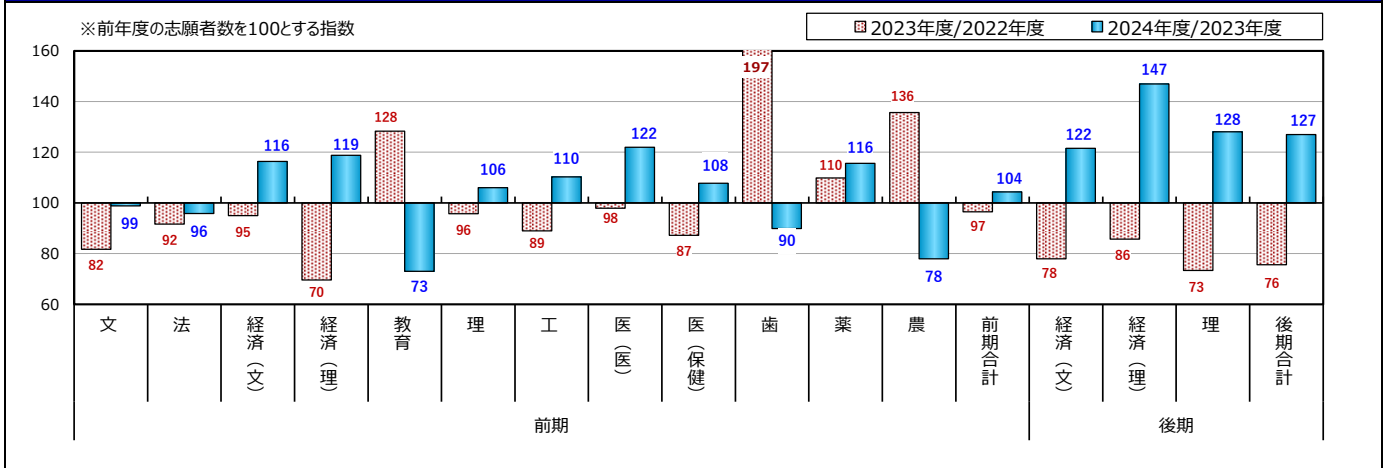


東北大：国際卓越研究大学の認定候補となった効果もあり、前期はやや増加、後期は大幅増加 前期：+184人 後期：+272人



主な入試変更点	第1段階選抜基準変更：医(医)…<前>約3.0倍→約3.5倍 募集人員：工(機械知能・航空工)…<前>164人→173人 (電気情報物理工)…<前>170人→184人 (建築・社会環境工)…<前>75人→80人
----------------	--

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、「国際卓越研究大学」の唯一の認定候補となった効果と志願者数が2年連続減少だった反動から456人(108)の増加。日程別では、前期は184人(104)のやや増加で3年ぶりに増加。文理別では、文系は1人(100)の微減だが6年連続減少、理系は185人(106)のやや増加で3年ぶりに増加。後期は、前年度大幅減少の反動で、272人(127)の大幅増加。

- <前期日程>**
- 文(99)**は、前年度大幅減少の反動はなく前年度並。志願者数は募集人員が147人になった2021年度以降では最少。
 - 法(96)**は、難関大法学部への人気の低さから、やや減少で4年連続減少。志願者数は募集人員が112人になった2021年度以降では最少。
 - 経済(117)**は、2年連続減少の反動で大幅増加。方式別では、(文系)(116)は2年連続減少の反動で大幅増加。(理系)(119)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 教育(73)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願者数は募集人員が49人になった2021年度以降では最少。
 - 理(106)**は、前年度やや減少の反動でやや増加、志願者数は9年ぶりに540人を上回った。学科別では、5学科中4学科が増加。特に、(生物系)(124)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
 - 工(110)**は、2年連続減少の反動に加えて、募集人員が28人(5%)増加したこともあって増加。志願者数は2年ぶりに1,500人を上回った。学科別では、5学科中4学科が増加。特に、(化学・バイオ工)(138)、(材料科学総合)(122)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加、(建築・社会環境工)(124)も前年度減少の反動で大幅増加。
 - 医(医)(122)**は、第1段階選抜実施基準の緩和に加えて、募集人員が77人になって以降3年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率は3.8倍で第1段階選抜実施予告倍率約3.5倍を超えたことで、第1段階選抜が実施され、合格率は93.4%だった。
 - 医(保健)(108)**は、前年度減少の反動で増加。専攻別では、(保健/看護学)(139)は前年度大幅減少の反動で40%近い大幅増加。(保健/放射線技術科学)(112)は、2年連続増加。一方で、(保健/検査技術科学)(66)は大幅減少で2年連続減少。志願倍率も3.2倍→2.1倍にダウン。
 - 歯(90)**は、前年度倍増近かった反動で減少。
 - 薬(116)**は、大幅増加で2年連続増加、志願者数は3年ぶりに200人を上回った。
 - 農(78)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も3.4倍→2.6倍にダウン。

- <後期日程>**
- 経済(126)**は、前年度一橋大ソーシャル・データサイエンスの新設の影響もあって大幅減少した反動で大幅増加。方式別では、(文系)(122)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、志願倍率も14.1倍→17.2倍にアップ。(理系)(147)は2年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率も6.6倍→9.7倍にアップ。
 - 理(128)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、全て大幅増加。特に、(地球科学系)(148)の大幅増加が目立った。